

経営管理教育部

I	教育の水準	教育 28-2
II	質の向上度	教育 28-4

I 教育の水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

分析項目 I 教育活動の状況

〔判定〕 期待される水準を上回る

〔判断理由〕

観点1-1「教育実施体制」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 多様な学生の受入を目的として、公認会計士、税理士、アナリスト等、ファイナンス・会計分野の専門家を対象とした1年半コース、及びすべての授業を英語で行う国際プロジェクトマネジメントコースを設置している。
- 学生に対する授業アンケートにより、「質の高い授業を提供している」と学生に支持された教員を表彰するベストティーチャー賞制度を設けている。

観点1-2「教育内容・方法」について、以下の点から「期待される水準を上回る」と判断した。

- 企業経営を取り巻く環境の変化に対応するため、平成22年度から「サービス価値創造プログラム」を実施し、平成23年度には国際プロジェクトマネジメントコースを設置しているほか、平成26年度には「事業創再生プログラム」を「ビジネス・リーダーシッププログラム」に再編するなど、教育課程の改善に取り組んでいる。
- 国際化への取組として、英語授業のみで修了できる国際プロジェクトマネジメントコースの設置、海外の大学院で開催されるサマースクールへの参加についての単位認定、部局間学生交流協定に基づく派遣留学制度等を実施している。また、平成26年度には国立台湾大学経営管理大学院（台湾）とダブルディグリー制度を締結し、2名の学生を受け入れている。
- 平成23年度に神戸大学大学院経営学研究科と相互履修に関する協定を締結しており、平成24年度から平成27年度において合計98名を派遣し、合計40名を受け入れている。

以上の状況等及び経営管理教育部の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 期待される水準にある

〔判断理由〕

観点2-1「学業の成果」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 平成22年度から平成26年度に実施した学生に対する授業評価アンケート結果では、「実践的な知識を得ることができた」、「この領域の基礎的な知識を得ることができた」の項目について、各年度とも5点満点のうち平均4.2点以上となっている。

観点2-2「進路・就職の状況」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 平成26年度に実施した修了生に対するアンケート結果では、授業を通じて身に付けたこととして、「チームによる問題解決能力」は85%、「思考力」は82%、「専門分野への意欲」は82%となっている。
- 平成26年度における修了生の就職率は89%となっている。

以上の状況等及び経営管理教育部の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

Ⅱ 質の向上度

1. 質の向上度

〔判定〕 改善、向上している

〔判断理由〕

分析項目Ⅰ「教育活動の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

- 平成 22 年度から「サービス価値創造プログラム」を実施し、平成 23 年度には国際プロジェクトマネジメントコースを設置しているほか、平成 26 年度には「事業創再生プログラム」を「ビジネス・リーダーシッププログラム」に再編するなど、教育課程の改善に取り組んでいる。
- 専門領域横断的な教育プログラムであるデザイン学大学院連携プログラムを、工学研究科、情報学研究科、教育学研究科と共同で平成 25 年度から実施している。
- 社会人向けの教育として、経営者や幹部職等の社会人を対象とし、サービス経営に特化した必須 6 科目を学ぶ「サービス・エクセレンス講座」、及びサービス経営に関わる実践力の養成を図る「京都大学サービス MBA 入門プログラム」を平成 27 年度から実施している。
- 国際化への対応として、平成 26 年度に国立台湾大学経営管理大学院（台湾）とダブルディグリー制度を締結しているほか、アジア諸国の政府機関、大学、企業と連携し、アジアビジネスリーダー育成プロジェクトを実施している。

分析項目Ⅱ「教育成果の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

- 平成 22 年度から平成 26 年度に実施した学生に対する授業評価アンケート結果では、「実践的な知識を得ることができた」、「この領域の基礎的な知識を得ることができた」の項目について、各年度とも 5 点満点のうち平均 4.2 点以上となっている。

これらに加え、第 1 期中期目標期間の現況分析における教育水準の結果も勘案し、総合的に判定した。

2. 注目すべき質の向上

- 社会人向けの教育として、経営者や幹部職等の社会人を対象とし、サービス経営に特化した必須 6 科目を学ぶ「サービス・エクセレンス講座」、及びサービス経営に関わる実践力の養成を図る「京都大学サービス MBA 入門プログラム」を平成 27 年度から実施している。